令和７年度　事業計画

令和６年は元旦に発生した能登半島沖地震に始まり、全国各地で豪雨災害も発生しました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。また、猛暑も襲来し、人類が地球という自然の中で生かされているということを感じずにはおられない１年でした。そのような厳しい自然と人類との調和の中で育まれてきたのが東洋医学のように思います。

当財団が予定していた令和６年６月の学術研究報告会では、多くの研究成果をご報告いただきました。現代の科学的視点からの漢方薬の新たな作用機序の解明が、さらに加速されていくことを期待します。また、10月の市民公開講演会、薬草植物園観察会、薬学祭企画「七味唐辛子作り」は、多くの参加者の下、開催することができ、「東洋医学の理解・振興と普及」という当財団の目的の一端を果たせたのではないかと思います。

近年、漢方薬の治療効果については、それまでの経験則だけでなく、科学的な事実に基づいて示されるようになっており、加えて、その作用機序についても、生理学的、生化学的手法や、遺伝子レベルでの解析が進んでいます。本財団は、そのような研究を支援すると共に、その研究成果を市民の皆様に広くお伝えすることを進めてまいります。

従いまして、本年も、例年通り研究助成を行うとともに、学術研究報告会、市民公開講演会、並びに東洋医学の普及に向けたイベントを、計画しております。

当財団は財政的には小規模ではありますが、引き続き、東洋医学研究の推進を支援することを通して社会に貢献してまいります。

研究助成

東洋医学・医療の発展を目指し、東洋医学に関連する研究の助成を行う。研究の重要度に応じて50～80万円、総額300万円を助成します。４月～５月を応募期間として助成案内を出し、業績と将来性に基づいた魅力ある研究を採択し助成します。

学術研究報告会

７月に前年度の研究助成受賞者の研究成果報告会を開催し、研究助成の成果を検証します。

市民公開講演会

東洋医学の理解・振興と普及を目的にして、一般市民を対象にした公開講演会に加え、来場者参加型のイベントを企画・開催します。多くの皆様のご参加を期待します。

収支（損益）予算書

令和７年４月１日から令和８年３月31日まで　　単位：円

科目	公益目的事業			法人会計	合計	前年度予算	増減
	公益事業会計	共通	小計				
Ⅰ　一般正味財産増減の部							
1．経常増減の部							
(1)　経常収益							
基本財産運用益							
基本財産受取利息		25,000	25,000		25,000	400	24,600
基本財産受取配当金		5,025,000	5,025,000		5,025,000	5,025,000	0
受取会費							
賛助会員受取会費				850,000	850,000	950,000	△ 100,000
雑収入							
雑収益		700	700		700	50	650
経常収益計		5,050,700	5,050,700	850,000	5,900,700	5,975,450	△ 74,750
(2)　経常費用							
事業費							
給料手当	1,056,000		1,056,000		1,056,000	1,056,000	0
旅費交通費	40,000		40,000		40,000	40,000	0
通信運搬費	110,000		110,000		110,000	110,000	0
消耗品費	5,000		5,000		5,000	5,000	0
印刷製本費	90,000		90,000		90,000	90,000	0
図書費	0		0		0	0	0
水道光熱費	0		0		0	0	0
賃借料	290,000		290,000		290,000	290,000	0
講演会費	510,000		510,000		510,000	510,000	0
諸謝金	30,000		30,000		30,000	30,000	0
支払助成金	3,000,000		3,000,000		3,000,000	3,200,000	△ 200,000
雑費	30,000		30,000		30,000	30,000	0
事業費計	5,161,000	0	5,161,000	0	5,161,000	5,361,000	△ 200,000
管理費							
給料手当				264,000	264,000	264,000	0
会議費				280,000	280,000	280,000	0
旅費交通費				0	0	0	0
通信運搬費				130,000	130,000	130,000	0
消耗品費				4,000	4,000	4,000	0
修繕費				30,000	30,000	30,000	0
印刷製本費				27,000	27,000	27,000	0
図書費				4,000	4,000	4,000	0
光熱水料費				7,000	7,000	7,000	0
賃借料				73,000	73,000	73,000	0
雑費				100,000	100,000	100,000	0
管理費計				919,000	919,000	919,000	0
経常費用計	5,161,000	0	5,161,000	919,000	6,080,000	6,280,000	△ 200,000
当期経常増減額			△ 110,300	△ 69,000	△ 179,300	△ 304,550	125,250
2．経常外増減の部							
(1)　経常外収益							
経常外収益計							
(2)　経常外費用							
経常外費用計							
当期経常外増減益			△ 110,300	△ 69,000	△ 179,300	△ 304,550	125,250
一般正味財産増減額			3,311,106	1,803,154	5,114,260		
一般正味財産期首残高			3,200,806	1,734,154	4,934,960		
一般正味財産期末残高							
（うち特定資産への充当額）							
Ⅱ　指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額			0	0	0		0
指定正味財産期首残高				0	170,000,000		
指定正味持参期末残高				0	170,000,000		
Ⅲ　正味財産期末残高					174,934,960		